DOLPA（ラルマヤ、パンファ、パドマ）訪問して

現地代理人 クリシュナ・カティワダ

2011年12月25日から翌年1月5日、 ドルパの3人の卒業生の学校を訪ねました。 ドルパは秘境といわれています。

なかなか入ることはできません。 ドルパヘの飛行機の往来は偏に天候次第です。12月25日にはラッキーなことにドルパヘ飛べました。3年ぶりに会つた卒業生たちは元気に先生をしていました。さて、仕事を終えて帰ろうと同行者2人と共に、12月31日にJufal飛行場にやつてきたときは、雪が降つて飛行機は飛べないという状態になつていました。それから、 1月3日まで、飛行場の近くのホテルに缶詰です。毎日毎日飛行場にやつてきて空を眺めながら過ごしました。飛行機を待つている間にいろいろな人を見ました。

最悪の場合は飛行機をチャーターしてでもカトマンズに行きたいという死にそうな病人を抱えている人。死が早いか飛行機が早いかという状態。崖から落ちて6日日という13歳の女の子は、28歳の父親に付き添われていたが、待つている間にお金が尽きてしまい困つていました。国会議員もいました。空を見て飛行機が当てにならないと観念して、

3日間歩けば車の通る道に出られるので、山越えで陸路を出発してしまう人たちがいました。私たちも3日間歩いたほうが早いと選択して4日に歩き出しました。しかし、歩き出した翌日、同行の一人がケガをして歩けなくなりました。6日、救急ヘリが飛んできてくれてようやくけが人をカトマンズに運ぶことが出来たときは心底ホットしました。